

かけはし

第92号 平成22年12月20日発行

発行/千代田区教育委員会 編集/子ども・教育部子ども総務課

代表電話 3264-2111 <http://www.city.chiyoda.lg.jp/>



平成22年10月1日
「小・中陸上競技大会」にて

主な記事

- ☆ 千代田区保健会だより
- ☆ ウェストミンスター市立学校との交流
- ☆ 読書学習・平和学習の推進
- ☆ ごっこ遊びの紹介
- ☆ 青少年健全育成ワークショップ



写真：千代田区教育委員会
千代田区広報広聴課

英国ウエストミンスター市への中学校・中等教育学校生徒派遣報告

～たくさんの体験をしてきました！～

千代田区教育委員会では、国際教育の一環として、英国ウエストミンスター市立中学校生徒と相互派遣による交流を行っています。今年度も10月28日（木）から11月6日（土）までの10日間、本区の中学校・中等教育学校の2年生10名が、英国ロンドンのウエストミンスター市を訪れ、同市の中学生宅にホームステイしながら海外での貴重な体験をしてきました。

生徒たちは現地での学校生活・家庭生活で、異なった言語、生活習慣、価値観を体験することを通じて日本や自分の家族・友達などの「よさ」を再発見したようでした。また、短期間ではありましたが、派遣先の学校では、英国の中学生たちと温かい友情をはぐくんできました。今後は、派遣で学んだことを各学校で報告する報告会や来年度の受入に向けての準備に取り組む予定です。

派遣生徒からの声

- パートナーに英語が通じず、身振り手振りで必死にコミュニケーションをとりました。少しずつ通じるようになってうれしかったです。日本への受入ではパートナーがよい思い出をつくれるようにしたい。
- 派遣校ではいろいろな経験ができ、友達もできました。授業中や休み時間、生徒たちがとても明るく過ごしていて、楽しい学校生活を送れました。英国での素晴らしい体験をさせてくれた家族、千代田区に感謝しています。



読書活動の推進

前号に引き続き、「読書に親しむ子の育成 ～読書習慣の形成・定着に向けて～」を主題に研究している教育課題調査研究部会の取組を紹介します。

「楽しみながら読もう『坊っちゃん』」（お茶の水小学校 対象：1年生）

明治の文豪・夏目漱石の母校（旧錦華小学校）である本校は、毎年、読書週間に、「夏目漱石暗唱コンテスト」を行っています。低学年は『坊っちゃん』、中学年は『吾輩は猫である』、高学年は『草枕』の冒頭部分について暗唱に挑戦しています。

今回、1年生にとっては難しい文章ですが、繰り返し声に出して読むことで、新しい言葉や表現と出会い、名文の響きやリズムを体感してほしいと願って授業をしました。作品の冒頭部を3つの場面に分けて絵で表し、それを大型デジタルテレビに映すようにしました。

児童は、絵に合わせてテンポよく繰り返し練習したり、3人の友達と分担して暗唱したりして、楽しく活動しました。授業の終わりには、多くの児童が暗唱を成功させ、大きな拍手が沸きあがりました。



千代田区 学校保健会だより

第82号
(昭和52年5月15日創刊)

千代田区学校保健会
会長 額賀 聡

平成22年度 千代田区学校保健大会開催

平成22年11月27日(土) 富士見小学校「体育館」において、学校保健会関係者多数の出席のもと、平成22年度千代田区学校保健大会が開催されました。

学校保健大会は千代田区における学校保健、学校給食の充実を図り、幼児・児童・生徒の健康づくりを推進し、その実績と成果を集大成し、健康教育の充実と発展に資することを目的として毎年開催されております。

当日は、学校保健関係者をはじめ、PTA、学校教職員などおよそ170名の出席者を迎えることができました。

大会は、小熊朝秀学校保健会副会長の司会により、八幡則子学校保健会副会長の開会のことばから始まり、額賀聡保健会会長の挨拶に続き、来賓の石川雅己区長、桜井ただし区議会議長、市川正教育委員長よりご祝辞を賜り、本会の活動への期待をいただきました。

続いて、長年にわたり学校保健に尽力された功労者の表彰式が行われ、今年度は4名の方が受賞され、額賀会長から表彰状と記念品が手渡されました。

司会が奥山拓雄学校保健会監事にかわり、2部会の代表による口頭での研究発表があり、学校歯科医・幼稚園歯科医部会からは、学校歯科保健教育が子どもの生涯に及ぼす影響と題して学校保健委員会の活用と保健教育の実施手順等について、学校給食主任部会からは給食指導の実践報告と題し、食生活に関心を持ち、食べ物を大切に作る心をはぐくむ給食指導について発表がありました。

また、大会に先立ち平成25年秋に東京都で開催される国民体育大会において、千代田区でデモンストレーションとして行われるドッチビーの体験が「体育館」で、こども園の給食試食及び食事指導が「ランチルーム」で行われました。

閉会にあたっては、愛知徹也保健会理事が挨拶し、ご協力いただいた方々への感謝をのべました。

(大会誌から抜粋)

千代田区学校保健大会によせて

千代田区学校保健会会長 額賀 聡
(千代田区立和泉小学校長)



千代田区学校保健会は、「保健教育の振興、万全な保健管理、学校保健の調査研究・普及」を目的に掲げ、その達成に向けて、子どもの育ちを後押しする全ての大人が知恵を出し合いながら、意義深い取組を継続してきています。今年も、価値ある実践を報告する時期を迎えました。

本日の学校保健大会では、千代田区の幼児・児童・生徒の健康づくりを推進することによって得た成果とこれからの課題等を精査して報告いたします。本誌をご覧くださる皆様には、本会の

取組についてご理解いただくとともに、子どもたちの今後の健康づくりを進める一助にいただければ幸いです。

さて、小学校を例にあげれば、来年度より新しい学習指導要領（文部科学省告示）が全面実施となります。その中で、体育科の「保健」領域の学習指導でも、新たな内容が示されました。それらは、本会の取組に直結する重要な部分であると考えています。

まず、3年生の「毎日の生活と健康」では、「心や体の調子がよいなどの健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因がかかわっていること」が新しく示されています。当然のことながら、学習指導要領やその解説で示された用語は、3年生の子どもに適した言葉に置き換えて指導することになります。ここでは、子どもたちが、学習したことを自身の生活に当てはめながら実践的に理解する活動を設定しなければなりません。

また、5年生の「けがの防止」では、「身の回りの生活の危険が原因となるけがの防止」が新たに示されました。水の事故や学校生活の事故、犯罪被害が原因となって起こるけがの防止は、子どもたちの健全育成の根幹を成します。

さらに、6年生の「病気の予防」では、「地域では、保健にかかわる様々な活動が行われていること」が新たにあげられています。その解説にあるように、人々の病気を予防するために、保健所や保健センターなどでは、健康な生活習慣にかかわる情報提供や予防接種などの活動が行われていることを子どもに理解させる学習です。小学校では、「病気の予防」のために行われている地域の活動を中心に指導を展開します。そして、ここでの学習は小学校のまとめとして位置付くものであり、中学校との接続を意識して指導しなくてはなりません。

これらの指導は、学校だけで完結できるものではありません。幼児・児童・生徒の発達段階に応じた家庭教育とともに、校医・園医の先生方や関係諸機関の方々に専門的なご指導をいただくことが大切です。また、ラジオ体操や各種の地域行事等と連携して、子どもたちにリズムのある生活習慣を定着させることも重要です。まさに、本会の活動を活性化させながら継続していくことと軌を一にすると感じます。

今年度は、大会前にこども園給食試食・食事相談とドッジビー体験を企画しました。今後も、各家庭の皆様にとって、みのり多き土曜になるよう大会内容の精査・工夫を図って参ります。

最後に、本会に多大なるご支援をお寄せくださっております、千代田区並びに千代田区議会、千代田区教育委員会をはじめ関係各位に、心より厚く御礼申し上げ結びといたします。

平成22年度学校保健功労者

(敬称略・順不同)

神田一橋中学校・学校医	遠藤 素夫
お茶の水小学校・学校歯科医	今村 昭二郎
九段中等教育学校・学校歯科医	柴山 謹一郎
麴町幼稚園・小学校・学校薬剤師	新庄 恵子



研究発表 1

○学校歯科医・幼稚園歯科医部会

『学校歯科保健教育が子どもの生涯に及ぼす影響

—学校保健委員会の活用と保健教育の実施手順—

愛知 徹也



- 介護予防における口腔ケアの意義
- 要介護になったら
- 学校教育にも生涯の観点
- 学校歯科医師の職務
- 学校歯科保健教育の実践
- 学校保健委員会
- 学校保健委員会の現状
- 学校保健活動の実施手順

研究発表 2

○学校給食主任部会

『給食指導の実践報告

—食生活に関心をもち、食べ物を大切にする心をはぐくむ給食指導—



食育プラン実践報告

- 親子料理教室
- 「ぼく・わたしのおやつ」

各校における「健康・食育・体力向上プラン事業」の計画

【小学校】

- 「夏休み親子料理教室」
- 「グリンピースの皮むき おいも料理」
- 「トウモロコシの皮むき マーマレード作り」

- 「テーブルマナー」
- 第1学年親子給食会
- 第3学年ふれあい給食会
- 1年生と番町幼稚園児との交流給食
- 「世界に一つ！マイ箸作り」
- 「イネの育て方」
- 「もりもり大作戦」
- 「かみかみパワー：かみごたえのある食品とその調理」

【中学校】

- 「給食について知ろう」
- 「学校給食試食会（保護者対象）」
- 「全校体制で取り組む給食指導」

紙面発表

- 学校医・幼稚園医部会 学校専門医・幼稚園専門医部会
「注意欠陥／多動性障害（ADHD）」

四宮雅博

- 学校薬剤師・幼稚園薬剤師部会
「平成22年度夏季の教室の照度とまぶしさの試験」

清水弘明

- 学校保健主任部会
小学校 「心と体の健康づくり」
—健康教育の実践 「心の健康」を中心に—
中学校・中等教育学校 「思春期における健康教育」
—心の健康—

- 養護教諭部会
「未来につなげる健康づくり」

- 学校栄養職員部会
「心と体の健康づくりを目指す学校給食」



子どもたちに戦争の悲惨さ・平和の尊さを伝える

～ 区立富士見小学校で、「平和学習」と「戦争写真展」～



11月17日、千代田区立富士見小学校（昌子正夫校長、児童数310名）6年生の国語の授業において、戦争を題材とした作品「平和のとりでを築く」を読む学習（授業）を行いました。

授業では、区が所有する東京大空襲や原爆の写真パネルを使用しました。原爆によりボロボロになった作業服や中身が真っ黒になった弁当箱などが紹介され、児童は、皆、真剣な表情で授業を受けていました。写真に写された空襲や原爆による被害の様子を見た児童からは、「戦争のひどさがよく分かった」、「たくさん

の人々が死んでしまう戦争は絶対にしていけない」、「お父さん、お母さん、妹、弟がいることは、本当にありがたいことだと感じました」などの感想が聞かれました。同小学校内では、今回の授業で使用した写真パネルを含め約30点を展示した「戦争写真展」も実施し、他の学年の児童や学校を訪れた保護者等にも見ていただきました。これは、児童や保護者に戦争と平和について考えたり語り合ったりするきっかけにしておうと、学校と千代田区及び教育委員会が企画しました。

このような平和学習と写真展を同時に行うのは、初めてのことで、子どもたちが戦争の悲惨さと平和の尊さを実感し、教室での学習を家庭でも語り合う機会となりました。



2歳児「お芋掘りごっこ」

ふじみこども園

ふじみこども園の第2園庭に植えたサツマイモを3歳児（ぼうけん組）のお兄さん、お姉さんたちが、11月4日（木）・5日（金）でお芋掘をし、園に持ち帰ったお芋のつるを利用して、2歳児（すくすく組）の子どもたちがごっこ遊びを始めました。ペットボトルに紫色の色水を入れ、お芋に見立て、職員がペットボトルを紐で結び「ヨイショ、ヨイショ」と子どもたちが引っ張ったり、カラーフープの中にお芋の葉っぱを重ねて“焼き芋”にしたり、つるを利用し電車ごっこや縄跳びをしたりして、ごっこ遊びを楽しみました。



11月5日（金）の午前中10：30～11：30頃の様子



千代田区青少年対策地区委員会主催

ワークショップ

「お歌を絵にしちゃお！」を開催しました。



千代田区青少年対策地区委員会では、平成22年10月16日(土)に、「お歌を絵にしちゃお!」～日本の歌から感じる音風景～をテーマに、東京二期会所属のオペラ歌手の本物の歌声を聞き、歌(歌詞)から感じられる情景を親子で絵に描くワークショップを開催しました。

会場の区役所1階の区民ホールには15組29名の親子の方々に参加しました。

「オペラ歌手による日本歌曲演奏」

東京二期会所属のカウンターテナー歌手の彌勒忠史(みろく ただし)さん、ソプラノ歌手の嘉目真木子(よしめ まきこ)さん、ピアノ演奏の多田聡子(ただ さとこ)さんによる日本歌曲の演奏がありました。



楽曲は、

- ♪花(春のうららの隅田川…)
- ♪夏の思い出(夏が来れば思い出す…)
- ♪赤とんぼ(夕焼け小焼けの赤とんぼ…)
- ♪あわて床屋(春は早(はよ)うから…)
- ♪紅葉(秋の夕日に照る山紅葉…)

の5曲です。表現力豊かなそして、情感あふれる歌声、またリズムカルで弾むような歌声。

目の前に詩の情景が浮かんでくるようです。参加していた子どもさんたち、また一緒に参加のお父さん、お母さんなども感動の面持ちで聞き入っていました。

「描画ワークショップ」

いよいよ子どもたちが主役のお絵かきの始まりです。

既に3~4組ずつ楽曲ごとのグループに別れています。講師の吉田稔美(よしだ としみ)さんや描画補助の方々のアドバイスを受けながら、日本歌曲の歌詞を題材に、画用紙に絵を描きます。

始めは、思案顔でしたが、親子でしっかりタッグを組み、講師の方々の絶妙なアドバイスを受けながら、着実に完成させていきます。それぞれ創造力豊かな作品を完成させました。

みんなが書き終わったあと、グループごとに前に行き、両手で作品を上に掲げお披露目です。講師の方から講評をいただき、みんなも得意げな様子でした。

ご参加のお父さん、お母さんからは、貴重な良い経験ができたとの感想を多くいただきました。

— 青少年対策地区委員会の活動とは —

区内4警察署(麴町・丸の内・神田・万世橋)の管轄地域ごとに設置し、青少年の健全育成に関係した講演会の開催や地域ごとのパトロール活動、青少年ハンドブック作成など、地域の実態にあった活動を行っています。現在、約120名の委員のみなさんが活動しています。